

赤枠が変更または 追加となった様式です。

工事成績評定の様式一覧（一般土木工事関係）

様式名	区分	500万円以上		130万円を超え500万円未満		130万円以下			
		評定者	様式番号	評定者	様式番号	評定者	様式番号		
項目別評定内訳書			± 1-1		± 1-2				
工事成績採点表			± 2-1		± 2-2	検査員	2-3		
1 施工体制	I 施工体制一般	II 配置技術者	± 3-1	一般監督員	± 3-1				
	2 施工状況	I 施工管理	II 工程管理	± 3-2①	一般監督員	± 3-2①			
		III 安全対策	IV 対外関係	± 3-2②		± 3-2②			
		II 工程管理	III 安全対策	主任監督員 ± 3-2③	検査員	± 3-2③			
		I 施工管理		検査員	± 3-2④	検査員	± 3-2④		
	3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	II 品質	一般監督員	± 3-3①	一般監督員	± 3-3①		
				一般監督員	± 3-3②	一般監督員	± 3-3②		
		II 品質	I 出来形		± 3-4(1)(2)		± 3-4(1)(2)		
			コンクリート構造物工事		± 3-5(1)		± 3-5(1)		
			土工事		± 3-5(2)		± 3-5(2)		
			護岸・根固・水制工事、ブロック(石)積工(張工)		± 3-5(3)		± 3-5(3)		
			鋼橋工事		± 3-5(4)		± 3-5(4)		
			砂防構造物工事及び地すべり防止工事		± 3-5(5)		± 3-5(5)		
			舗装工事		± 3-5(6)		± 3-5(6)		
			海岸工事		± 3-5(7)		± 3-5(7)		
			法面工事		± 3-5(8) -1~3		± 3-5(8) -1~3		
			基礎工事及び地盤改良工事		± 3-5(9) -1, 2		± 3-5(9) -1, 2		
			二次製品構造物・小型構造物		± 3-5(10)		± 3-5(10)		
			コンクリート橋工事		± 3-5(11)		± 3-5(11)		
			塗装工事		± 3-5(12)		± 3-5(12)		
			トンネル工事		± 3-5(13)		± 3-5(13)		
			防護柵・標識・区画線工事		± 3-5(14)		± 3-5(14)		
			植栽工事	検査員	± 3-5(15)	検査員	± 3-5(15)	検査員	2-4
			港湾築造工事		± 3-5(16) -1, 2		± 3-5(16) -1, 2		
			ほ場整備工事		± 3-5(17)		± 3-5(17)		
			暗渠排水工事		± 3-5(18)		± 3-5(18)		
			管水路工事		± 3-5(19)		± 3-5(19)		
			木製構造物工事		± 3-5(20)		± 3-5(20)		
			鋼製自在枠工事		± 3-5(21)		± 3-5(21)		
			補強土壁工事		± 3-5(22)		± 3-5(22)		
軽量盛土工事				± 3-5(23)		± 3-5(23)			
橋梁補修繕工事				± 3-5(24) -1, 2		± 3-5(24) -1, 2			
下水道工事				± 3-5(25) -1, 2		± 3-5(25) -1, 2			
電線共同溝工事				± 3-5(26)		± 3-5(26)			
維持補修工事、上記以外の工事			± 3-5(27)		± 3-5(27)				
機械設備工事		± 3-5(28)		± 3-5(28)					
電気設備工事		± 3-5(29)		± 3-5(29)					
III 出来ばえ	コンクリート・砂防・海岸・トンネル、土、切土、護岸、ブロック積、鋼橋・水管橋・水門・樋門	検査員	± 3-6①	検査員	± 3-6①				
	地すべり、舗装、法面、基礎、コンクリート橋		± 3-6②		± 3-6②				
	塗装、植栽、防護柵、標識、区画線		± 3-6③		± 3-6③				
	ほ場整備、暗渠排水、港湾築造、管水路	検査員	± 3-6④	検査員	± 3-6④				
	木製構造物、鋼製自在枠、二次製品・小型構造物、補強土壁・軽量盛土		± 3-6⑤		± 3-6⑤				
	橋梁補修、河川伐開、維持補修、下水道		± 3-6⑥		± 3-6⑥				
	電線共同溝工事、機械設備、電気設備、その他		± 3-6⑦		± 3-6⑦				
4 工事特性	I 施工条件等への対応	主任監督員	± 3-7	一般監督員	± 3-7				
5 創意工夫	I 創意工夫	一般監督員	± 3-8	一般監督員	± 3-8				
6 社会性等	I 地域への貢献等	主任監督員	± 3-9	一般監督員	± 3-9				
7 法令遵守等		総括監督員	± 3-10	総括監督員	± 3-10				
記入方法及び留意事項			± 3-11						
工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況			± 3-12①						
工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）			± 3-12②						
(参考) 監督業務チェックリスト			± 3-13						

工事成績評定の審査項目別運用表

## 工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

赤枠内が変更した箇所です。

### 土 3 - 2 ③ 施工状況

【主任監督員】（500万円未満【検査員】）

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	工程管理が非常に優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない	工程管理がやや不適切である	工程管理が不適切である
		評価対象項目				
		1. 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを発生することなく工事を完成させた。 2. 地元及び関係官公署との調整を積極的に行い、トラブルも少なく工期内に工事を完成させた。 3. 適切な人員管理と工程管理により休日や夜間工事の回避を行い、地域住民に好印象を与えている。 4. 配置技術者（現場代理人等）の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 5. 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 6. 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において工程管理を適切に行い、余裕を持って工事を完成させた。 7. その他 理由：			8. 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	9. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。又は、受注者の責任により工期内に工事を完成させなかった。
		該当項目が3項目以上・・・a 該当項目が1～2項目・・・b 該当項目がなし・・・c	評定方法が該当項目の割合から 該当項目の個数に変わりました。			
	Ⅲ. 安全対策	安全対策が非常に優れている	安全対策がやや優れている	他の事項に該当しない	安全対策がやや不適切である	安全対策が不適切である
		評価対象項目				
		1. 建設労働災害、公衆災害の防止に向けた取組が顕著である。 2. 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んでいる。 3. 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んでいる。 4. 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 5. 安全協議会での活動に積極的に取り組んでいる。 6. 安全対策への取り組みが地域から評価されている。 7. その他 理由：			8. 安全対策に関して、監督員が文書による改善指示を行った。	9. 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。  10. 重大な工事関係者事故又は公衆損害事故があった。
		該当項目が3項目以上・・・a 該当項目が1～2項目・・・b 該当項目がなし・・・c	評定方法が該当項目の割合から 該当項目の個数に変わりました。			

当様式を新規に追加しました。

## 工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5 (26)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-11図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。																										
II. 品質		<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 1) 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) プラントの出荷時、現場到着時、舗装時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いように敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 管路置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) その他					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。																											
		<b>●判断基準</b>			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50%以下	80%以下	80%を超える																															
90%以上	a	a'	b	b																														
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
60%未満	b'	c	c	c																														
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																		

これは現行様式ですが、変更後の様式では赤枠部を削除しました。

### 工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5 (26)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する							(検査員)	
考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	維持補修工事 (清掃工、除草工、除雪、応急処理等)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-1 1 図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 監督職員の見示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) <input type="checkbox"/> 6) <input type="checkbox"/> 7) <input type="checkbox"/> 8)  ●判断基準 ※ 評価対象項目が6項目以上 . . . . . a ※ 評価対象項目が5項目 . . . . . a' ※ 評価対象項目が4項目 . . . . . b ※ 評価対象項目が3項目 . . . . . b' ※ 評価対象項目が2項目以下 . . . . . c  注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。						
	上記以外の工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-1 1 図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) <input type="checkbox"/> 2) <input type="checkbox"/> 3) <input type="checkbox"/> 4) <input type="checkbox"/> 5) <input type="checkbox"/> 6) <input type="checkbox"/> 7) <input type="checkbox"/> 8)  ●判断基準 ※ 評価対象項目が6項目以上 . . . . . a ※ 評価対象項目が5項目 . . . . . a' ※ 評価対象項目が4項目 . . . . . b ※ 評価対象項目が3項目 . . . . . b' ※ 評価対象項目が2項目以下 . . . . . c  注 評価対象項目は最大8項目とする。						

これは現行様式ですが、変更後の様式では赤枠部を削除しました。

### 工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5 (27)

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 <b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 1) 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）の内容が設計図書の仕様が満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 3) 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 5) 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 6) 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 7) 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 9) 小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19) 現地状況を勘案し施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) その他  <b>●判断基準</b> 評価値が90%以上 . . . . . a 評価値が80%以上90%未満 . . . . . a' 評価値が70%以上80%未満 . . . . . b 評価値が60%以上70%未満 . . . . . b' 評価値が60%未満 . . . . . c					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
							①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。	

これは現行様式ですが、変更後の様式では赤枠部を削除しました。

### 工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-5 (28)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する							(検査員)			
考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ●評価対象項目						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
II. 品質		<input type="checkbox"/> 1) 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおりに配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) その他								
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・a' 評価値が70%以上80%未満・・・・・・・・b 評価値が60%以上70%未満・・・・・・・・b' 評価値が60%未満・・・・・・・・・・c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数( ) / 評価対象項目数( ) ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

赤枠箇所を新規に追加しました。

## 工事成績評定の考査項目別運用表（土木工事）

様式土3-6 ⑦

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する

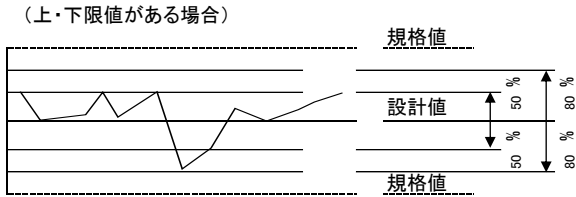
（検査員）

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	電線共同溝工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 1) 歩道及び車道の舗装（仮復旧舗装を含む）の勾配が適切で、有害な段差がなく平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> 2) 蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 3) 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 4) 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当3項目以上 . . . . . a 該当2項目 . . . . . b 該当1項目 . . . . . c 該当項目なし . . . . . d	
	機械設備工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 1) 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 <input type="checkbox"/> 2) きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 3) 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 4) 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 5) 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当4項目以上 . . . . . a 該当3項目 . . . . . b 該当2項目 . . . . . c 該当1項目以下 . . . . . d	
	電気設備工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 1) きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 2) 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 3) 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 <input type="checkbox"/> 4) ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 <input type="checkbox"/> 5) 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 6) 全体的な美観が良い。		<b>●判断基準</b> 該当5項目以上 . . . . . a 該当4項目 . . . . . b 該当3項目 . . . . . c 該当2項目以下 . . . . . d	
	上記以外の工事又は合併工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 1) <input type="checkbox"/> 2) <input type="checkbox"/> 3) <input type="checkbox"/> 4) <input type="checkbox"/> 5)  ※該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		<b>●判断基準</b> 該当4項目以上 . . . . . a 該当3項目 . . . . . b 該当2項目 . . . . . c 該当1項目以下 . . . . . d	
	上記以外の工事又は合併工事	<b>●評価対象項目</b> <input type="checkbox"/> 1) <input type="checkbox"/> 2) <input type="checkbox"/> 3) <input type="checkbox"/> 4) <input type="checkbox"/> 5)  ※該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。		<b>●判断基準</b> 該当4項目以上 . . . . . a 該当3項目 . . . . . b 該当2項目 . . . . . c 該当1項目以下 . . . . . d	

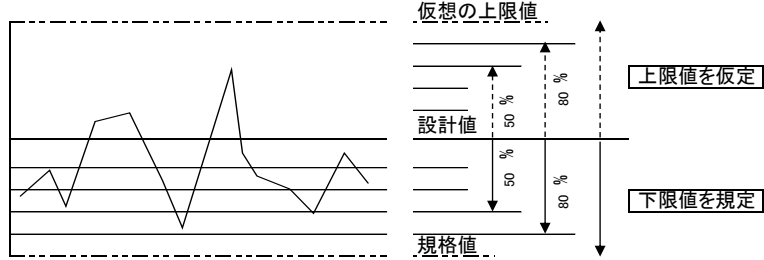
様式土3-11 【記入方法及び留意事項】《土木工事関係》

これは現行様式ですが、変更後の様式では赤字部を削除しました。

1. 出来形及び品質のばらつきの考え方  
◎〔管理図の場合〕



(下限値のみの場合)

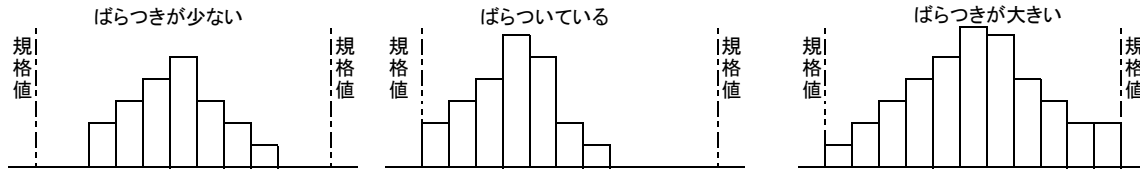


- 注 1、ばらつきの判断は、上記図の上・下限値の50%、80%でa、b、cの判定をする。  
2、品質管理点数が少なく、ばらつきの判定が困難なものは、施工管理、品質管理状況、全体の仕上がり状態を工事記録、目視等で確認し、それに応じた評価とする。

- 注 出来形のばらつきの考え方  
1、上限値のない場合は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。  
2、次の場合は、ばらつきを50~80%とみなす。  
(1)規格値が設計値以上となっている場合  
(2)根詰めブロック・吹付枠等既製型枠を使用して施工する場合(厚さ、幅、高さ)

- 注 出来形のばらつき判定の仕方  
(例1)吹付枠工・・・法長・延長は上記2(2)、幅・高さは上記2(3)、中心間隔は左記1を適用し、工事全体のばらつきを算定する。  
(例2)切削工+オーバーレイ工・・・切削工の全測定項目とオーバーレイ工の幅・延長は上記2(2)、オーバーレイ工の厚さは上記1を適用して、工事全体のばらつきを算定する。

◎〔度数表または、ヒストグラムの場合〕(参考)



2. 多工種複合工種の取り扱い

- (1)出来形のばらつき  
・原則として主たる工種と重要な工種の検査内容(基準高、幅、厚さ、高さ、法長、延長等)のばらつきを算定する。  
(2)品質・出来ばえ  
・原則として主たる工種と重要な工種について評定した上で、低い点数を採用する。

3. コンクリート構造物のクラックについて

- クラックが発生した構造物は、検査の前までにコンクリート診断士等専門家の意見を聴取し、発注者と協議して対応する。  
(1)有害なクラックについては、補修されている場合、「□」コンクリート構造物に有害なクラックがないの評価項目はチェックしない。補修されていない場合は、d以下の評価とする。  
(2)有害なクラック以外は「□」コンクリート構造物に有害なクラックがないの評価項目はチェックする。  
(3)検査の前までに調査がなされていない場合は指摘票により調査を行い、調査結果に基づき評定する。有害なクラックは、d以下の評価とする。有害なクラック以外は「有害なクラックはない」の評価項目をチェックするが、a又はa'の評価はしない。  
(4)出来ばえについて、適切な補修等がしてある場合は「クラックなし」とする。  
\*上記クラックに関するコンクリート構造物とは、①鉄筋コンクリート(橋梁、樋門、樋管、管渠等)、②重要な無筋コンクリート構造物(ダム(袖部含む)、堰堤、床固、場所打擁壁等)とする。  
なお、クラックについては、下記指針等を参考とできるが、専門家の意見が必要。  
「コンクリートのひび割れ調査、補修、補強指針」(日本コンクリート工学協会)、「コンクリート標準示方書〔維持管理編〕」(土木学会)

4. 運用表の記入方法

- (1)各運用表の該当する項目の□にレマークを記入する。  
(2)該当項目等の%及び個数によりa、(a')、b、(b')、c、d、eを判断し該当記号に○印をつける。  
(3)(2)により該当記号を工事成績採点表に写し採点をする。

5. (1)「Ⅲ 出来ばえ」で該当項目が減った場合の評定の考え方

		該当チェック項目数(個)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
評 定 点	a	1	2	3	3	4	5	6	7
	b	1	1,2	2	2	3	4	4	4
	c	1	1	1	1	2	3	3	3
	d	無	無	無	無	1	2	2	2

(2)積雪等により出来ばえの現地検査ができない場合

- ・監督員が行った段階確認及び出来形確認資料や工事写真等で検査を行うが、構造物等について細部まで詳細に検査することが出来ないため、出来ばえは「C」と評定する。

6. 「品質」

- (1)品質の重要項目(☆印)とは、その工種において施工上の配慮を特に求める項目である。  
(2)「河川浚渫工」等の品質管理項目が無い場合等の評定の考え方  
・評価対象項目が2項目以下の場合は、C評価とする。  
・品質管理項目がない場合C評価とする。